

第6回小郡市幼児施設審議会議事録

日 時	令和7年10月16日（木）14：00～15：11
場 所	小郡市総合保健福祉センターあすてらす 2階 各種教室
出席者	<p><委員></p> <p>会長：脇田委員</p> <p>委員：大淵委員、酒村委員、梶原委員、秋本委員、中川委員、組坂委員</p> <p><事務局職員></p> <p>林子ども・健康部長兼こども家庭支援課長、成富保育所・幼稚園課長、鹿毛保育支援係長、砂田御原保育所所長、内田大崎保育所所長、大石三国保育所所長、今井こども家庭支援課参事、山口こども家庭課指導主査</p> <p><傍聴者>なし</p>
資 料	第6回小郡市幼児施設審議会次第
会議内容（要旨抜粋）	
1 開会あいさつ（脇田会長）	
<p>2 審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申（案）について ・質疑応答、意見交換 <p>《委員》児童数という表現は幅広い年齢層を指すので、年少人口（0-14歳）と表記したほうがわかりやすい。</p> <p>《委員》保育士の現状として配置基準上は充足していると記載してあるが、待機児童が発生している状況と保育園が定数以上に園児を受け入れている現状がある中で、保育士が充足しているとまでは言えないのではないかと。</p> <p>《委員》保育士の配置基準は満たしているという表現は、保育士確保の問題は解決しているように聞こえる。しかし、現場では労働環境が依然厳しい状況があり、根本的には解決に至っていないという内容を伝えた方がよい。</p> <p>《委員》各審議事項について、《共通意見》と《各委員の意見》は分けて記載するのではなく、《共通意見》に付随する形で《各委員の意見》を記載した方がわかりやすい。</p> <p>《委員》「（1）今後の公立保育所のあり方と果たすべき役割（機能）について」、保育職の離職防止に関する説明の中で、離職防止に関する内容と保育士のモチベーション維持・向上に関する内容は分けて表記した方がよい。保育士のモチベーション維持・向上に関する内容は、保育実習に関するキャリアアップ研修の中で記載したらどうか。</p> <p>《委員》「（1）今後の公立保育所のあり方と果たすべき役割（機能）について」、私立保育所と公立保育所を比較して公立保育所は忙しいという誤解が生じるので、公立・私立との役割分担の中でそれぞれの役割を担っているという表記がよいのではないかと。</p> <p>《委員》「公立保育所の業務を減らすために民間に任せる」とあるが、何を民間にまかせるの</p>	

か、具体的な業務内容を記載できないか。

《委員》「(1) 今後の公立保育所のあり方と果たすべき役割(機能)について」、記載されている内容は理解できるが、内容が重複している部分もあるので文章表現を整理した方がよい。

《委員》「(2) 今後の子育て支援センターの充実について」は、現状施設の機能強化とサービス拡充というような項目に分けて文書構成すると分かりやすい。

《委員》「(2) 今後の子育て支援センターの充実について」の《共通意見》は、「地域の子育て世帯の孤立化の防止」と「子育ての不安解消や交流の促進」の2つに分割した方がわかりやすい。

《委員》「(3) 今後の公立幼稚園のあり方と果たすべき役割(機能)について」の《共通意見》は、昨今の社会情勢での保育ニーズの高まりを受け、「公立幼稚園の認定こども園への移行」を明言していいのではないか。また、幼稚園の発達巡回相談事業についても、市内の児童発達支援センター(こぐま福祉会)が隣接地に移転されることで連携が強化されていくのであれば、「児童発達支援センターとの連携を強化した認定こども園」として新たな機能を担うことも期待できるのではないか。「1号から3号まで」という表現はわかりやすい表現に変更した方がよい。

《委員》「公立幼稚園の幼児教育センターとしての役割の明確化」は「5. 今後の展望」に記載したらどうか。

《委員》答申案を大局観でみると、インクルーシブ保育やダイバーシティ(多様性)についての考え方が大方を占めているが、答申書の理解促進のため、冒頭部分でも社会情勢としてダイバーシティ(多様性)や共生社会の実現に関する説明を加えた方がよい。

《委員》幼児教育センターの役割として、保育所、幼稚園及び子育て支援センターなどを包括的に捉え、より横断的な連携機能を働かせることも明記していただきたい。

3 その他

《事務局》今日いただいた意見、及び、今週末までの意見書をもとに答申書を作成し、後日、会長から市長へ答申します。

4 閉会のあいさつ(林子ども・健康部長兼こども家庭支援課長)